

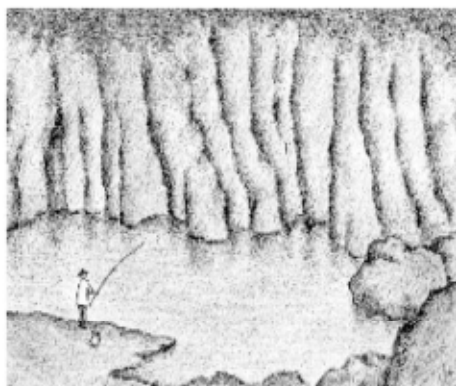
●三位一体後第六主日 泉のほとり

今月の詩編「第二十五編」

あなたに望みをおき、

無垢でまっすぐなら

そのことがわたしを守ってくれるでしょう。



穏やかに迎え入れた

イスラエルの民が約束の地カナンの日の前まで来た時、ヨシユアはエリコの町に二人の偵察を送りました。

そして、その二人はラハブという人の家に入りました。

ラハブからすると、これからエリコを攻撃してくると町中で騒がれているイスラエルが突然目の前に現れたのです。誰もが戸惑ってしまう状況の中、ラハブは戸惑うことなく二人を家に迎え入れました。それも「穏やかに」。それは平和、平安という意味です。二人を平安に迎え入れ、一晩家に泊まらせました。ラハブは目の前にいるこの民のために神さまが成し遂げられたあらゆる御業を耳にしていたのです。神さまが紅海を分け、強大なエジプト軍からも彼らを救い出し、何も無い荒野でも40年間毎日、毎日養われ、彼らが進む道を妨害した大空勢も、堅固な町も全てを追い払われたことを。彼女はそれら一つ一つをまるでその目で見て、体験したかのように素直に受け止めていました。聞いたことを通して心砕かれ、海も町も人も、この世界全てをご支配しておられる神さまを知り、信仰を得ていたのです。ラハブはその大いなる神さまを平和に迎え入れるように、二人を穏やかに迎え入れました。二人の背後におられる神さまに目を向け、神さまを恐れて生きていたのです。

しかし、その信仰に生きていたのはエリコの中で、たった一人ラハブだけでした。エリコの下も住民も、イスラエルに立ち向かった人々を神さまが全て滅ぼされたと聞いても、神さまを恐れず、かたくなにイスラエルに敵対していたのです。

そのエリコの王の遣いが「お前の家に入り込んだものたちを引き渡せ」とラハブの家に入り込んで来ました。

二人が見つかれば、王の命令に逆らったとされ殺されるかもしれない。一方、王の命令に従えば、すぐに命の安全を確保できます。しかしラハブは迷わず二人を屋上へと上げらせ、棺物で覆い隠し、王の遣いに「その人たちは外へ出て行った」と、彼らの目を上手に外に向けさせ二人をかかまいました。神さまにより生かされてきた二人を見捨ててはできません、必死に助けたのです。それからラハブは二人のことを誰にも話さず、外に出て行った追手たちに出会えないように助言をし、仲間の元へと無事に帰らせました。自分のできる最大限のことをなして、神さま、イスラエルに誠意を尽くしたのです。

全ての人がイスラエルに敵対する中、このラハブだけは悲しき人々と共に神さまに反すること、御心に添わないことを何一つ行いませんでした。思わぬことが起こり、命の危険さもある中、神さまにのみ目を向け、神さまを中心にしての行いをなしたのです。そこには戸惑いも迷いも一切ありません。ラハブの姿から、信仰に生きる人は神さまの前に自分が何をなすべきか、どのように振舞うべきかをわきまえている人、何をを行うにしても迷いなく生きる人と学ぶのです。

私たちはそれぞれ的人生を生きている上で、さまざまな出来事があり、時に思わぬことも起こるかもしれない。しかし私たちはどんな場面、生活の中でも、神さまがなされることを素直に見て、何事においても神さまを恐れ、神さまを中心に物事を見ていきたいと思いません。その信仰に生きる人はラハブのように、恐れも、迷いもなく生きることができるのです。

(ハブライ人十一・二十二)

詩篇 第二十七篇(協会共同訳)

七 主よ、呼びかける声を聞いてください。

私を憐れみ、答えてください。

八 あなたに私の心は言いました

「私の顔を求め求めてください」と。

主よ、私は御顔を求め求めます。

九 御顔を私から隠さず

怒りによつて顔を退けないでください。

あなたは私の助けとなつてくださいました。

私を置き去りにせず、見捨てないでください

わが救いの神よ。

十 父と母が私を見捨てようとも

主は私を迎え入れてくださいます。

十一 主よ、あなたの道を示し

敵対する者のゆえに

私を平らな道に導いてください。

十二 私を苦しめる者の思いのままに

させないでください。

偽りの証人と悪言を吐く者が

私に向かって立ち上がりました。

十三 私は信じます

生ける者の地で主の恵みにまみえることを。

十四 主を待ち望め。

勇ましくあれ、心を強くせよ。

主を待ち望め。

詩篇 第二十七篇(新改訳2017)

七 聞いてください。主よ。私が呼ぶこの声を。

私をあわれみ、私に答えてください。

八 あなたに代わつて私の心は言います。

「わたしの顔を憐れ求めよ」と。

主よ、あなたの御顔を私は慕い求めます。

九 どうか御顔を私に隠さないでください。

あなたのしもべを

怒つて押しつけしないでください。

あなたは私の助けです。

見放さないでください。

見捨てないでください。私の救いの神よ、

私の父、私の母が私を見捨てるときは

主が私を取り上げてくださいます。

十一 主よ、あなたの道を私に教えてください。

私を待ち伏せている者どもがいますから

私を平らな道に導いてください。

十二 私を敵の意のままにさせないでください。

偽りの証人どもが私に向かい立ち

「悪言を吐いているのです。」

十三 もしも私が

生ける者の地で主のいつくしみを見ると

信じていなかったなら――。

十四 待ち望め、主を。

雄々しくあれ、心を強くせよ。

待ち望め、主を。

今日のお知らせ

○ 来週七月三十一日から八月二十八日までの夏季期間
は一回礼拝です。礼拝の開始時間は九時半から
です。

○ 二二日(金)に森洋之兄がお亡くなりになりま
した。今週二六日(火)・二時四五分より出棺式
を行います。葬式は八月五日(金)・四時から礼
拝堂で行う予定です。

○ 八月に行われる夏季バイブルスクールのお申込
受付は本日までです。

○ 今週二〇日(土)午前一時より、教会日の
日比野誠兄の結婚式が礼拝堂で行われる予定で
す。

○ 三面に新共同訳聖書も掲載していますので、
是非ご活用ください。

詩篇 第二十七篇 (新共同訳)

七 主よ、呼び求めるわたしの声を聞き

憐れんで、わたしに答えてください。

八 心よ、主はお前に言われる

「わたしの顔を求め求めよ」と。

九 主よ、わたしは御顔を求め求めます。

一〇 御顔を隠すことなく、怒ることなく

あなたの憐れを返けなさい。

あなたにわたしの助け。救いの神よ、

わたしを離れなさい。

見捨てなさい。

一〇 父母はわたしを見捨てようとも

主は必ず、わたしを引き寄せてくださいます。

一一 主よ、あなたの道を示し

平らな道に導いてください。

わたしを陥れようとする者がいるのです。

一二 貪欲な敵にわたしを渡さないでください。

偽りの証人、不法を言い広める者が

わたしに逆らって立ちました。

一三 わたしは信じます

命あるものの地で主の屈みを見ることを。

一四 主を待ち望め

雄々しくあれ、心を強くせよ。

主を待ち望め。



次週礼拝

● 夏季礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 (讃詩) 205番 雄々しくあれ

説教 「今日はあなたの救いの日」

聖書 II コリント6章1〜10節

説教者 吉村和雄 名誉牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 205番 雄々しくあれ
説教 「神の家とは」
聖書 1テモテ3章14～16節(新約P386)
司式 石川一見
聖餐司式 黄允澁 牧師・菊池 美穂子 副牧師
説教者 菊池 美穂子 副牧師

前奏曲 H169 「み神のみまえに」: D.カッパ

○讃美歌21 205番(1, 5番)

1. 今日光が 造られた日よ、
闇の中にも 「光かがやけ」
5. 今日主イエスの よみがえりの日
われらを生かす 愛をたたえよ
アーメン

○「雄々しくあれ」(1, 2番)

1. 雄々しくあれ 強くあれ 少年たちよ
神さまはどこにでも 共におられる
われらを倒して 負かすものはない
雄々しくあれ 強くあれ 強くあれ
3. 雄々しくあれ 強くあれ 少年たちよ
神様の御教えを 守り行ない
右にも曲がらず 左にもそれず
ただ真っすぐ進むのだ 進むのだ
アーメン

聖餐曲 「神のみ旨は常におこなわれ」: J.G. ヴァグネル

後奏曲 「ベネディクトゥス」 (小ミサより): G.フォーレ

第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 90番 274番
説教 「思いがけない時に来られる」
聖書 マタイ24章29～51節(新約P48)
司式 石川一見
聖餐司式 黄允澁 牧師・菊池 美穂子 副牧師
説教者 黄允澁 牧師

前奏曲 「目覚めよ、と呼ぶ声が聞こえ」
(カンタータ140番より): J.S.バッハ

○讃美歌90番(1・3番)

○讃美歌274番(1・4番)

聖餐曲 「神のみ旨は常におこなわれ」: J.G. ヴァグネル

後奏曲 「ベネディクトゥス」 (小ミサより): G.フォーレ